

町の貯金だよ

財政調整基金残高

3億933万2千円

令和
元年度



決算特別委員会

委員長に五十嵐一夫議員、副委員長に渡部正司議員を互選し、町長提出の8会計を慎重に審議。すべての会計の決算を全員賛成で認定しました。

委員長講評

限られた時間の中で委員より多くの発言があり、簡潔に的確な指摘をいただいたと評します。執行部の答弁も真摯かつ明瞭・丁寧であったと評価します。

副委員長講評

内向きと批判された予算の執行に対し、決算審査では比較的淡々と進んだ印象でした。限られた枠内で執行されたといった閉塞感の現れからか。今後、積極的な議論を生む工夫が求められると感じました。



討論

令和元年度一般会計決算について

私はこう考える

賛成

山口享議員

歳入においては町税や町有地の売却、ふるさと納税などの自主財源の収入済み額が、前年度と比較して7千664万2千円増加し、歳出においても担当部署において真に必要な事業を見極め、的確に各種事業を執行されたと考えます。また、令和元年度の財政調整基金残高は、前年度から大幅増加し、昨年策定された財政健全化アクションプランを基に着実に前進しており評価するものです。

賛成

渡部順子議員

令和元年度一般会計の歳入総額は73億9千万円、歳出総額は71億1千万円、実質収支として2億4千449万3千円の黒字となりました。暖冬により除雪経費が減額となり、その分で道路などの補修工事を行いました。昨年10月に発生した台風19号の被災も予備費や補正予算により迅速に対応し的確に執行されたと考えます。今後も創意工夫をしながら、適切な予算執行に努められ、持続可能なまちづくりのために尽力されることを期待し賛成討論とします。

賛成

渡部正司議員

本決算は元々内向き等と批判されていた予算でしたが、執行を終え、どのような感想を持っているかの質疑に対する答弁は『まだまだもっとできる場所があったかと思われる』でありました。厳しい財政状況の中でも、今後の町民の福祉につながる執行を期待させるものとして、賛成します。

決算 審議

財政健全化へ向かって 進行中！！



主 な 質 疑



【 一 般 会 計 】

Q 1 : 予備費からの充当が多くみられるが、このような支出の仕方で良いのか。	A : 予備費は、予定外の支出に備えて予算措置しているもので、令和元年度は、施設の修繕等の突発的な事由による支出が22件ありました。
Q 2 : 防雪柵は適切に設置されているのか。	A : 降雪前から雪解けまでの期間設置しています。
Q 3 : 街路灯の修繕はスムーズに行われているか。	A : 街路灯の球切れ、不具合は約400カ所ありました。委託会社で地区割をし、迅速な対応を心がけています。
Q 4 : 公園の管理はどのようにしているのか。	A : 都市公園は遊具点検を含め町で管理していますが、地区の公園は地区に管理をお願いしています。
Q 5 : 消防団分団運営費の活用方法は。	A : 消防団分団運営費の用途は基本的には消防団の施設や備品の軽微な修繕にあてることになりますが、団員の交流に使用することも可能です。
Q 6 : 高齢化で納税組合の存続が難しい状況ではないのか。	A : 現在36組合、431世帯が加入しています。課題はありますが「高齢化だからこそ組合で集金してもらえると助かる」との声もありますが、現在の状況を維持していきたいと考えています。
Q 7 : 単年度収支で赤字となったが、当初から赤字を見込む予算編成は適切と言えるのか。	A : 単年度収支は前年度からの繰越額を含まない収支であり、その年度だけをみると赤字となる場合があります。しかし、当初予算では、実際に発生するであろう繰越額を含む予算編成をしており、実質的に赤字となる予算編成はしておりません。

【 特 別 会 計 】

Q 8 : 国保の基金はどの位まで積み上げるのが妥当だと思うか。	A : 以前は全体予算の2～3割と手引きにも示されていましたが、現在は各市町村にまかされており、1ヶ月の支払い額が1億4,000万円位なので、その位が積み立ての目安になります。
Q 9 : 上水道未加入者の戸数と加入促進策はどうなっているのか。	A : 金上・広瀬地区が主で、約300世帯が未加入です。安心・安全で安定した水の供給をPRしていきます。